

6月定例会

陸別町議会6月定例会は、6月8日と9日の2日間開かれました。

今定例会では、工事請負契約の締結1件、条例案3件、補正予算案2件、意見書案1件、発議案1件を可決し、閉会しました。

補正予算質疑から

新型コロナウイルス ワクチン接種委託料

602万円

当初予算において、
ワクチン接種率を人口

(2千395人)の65%
(1千557人)でみてい
たが、今回の補正予算で、
接種率を100%(16歳以
上の人口2千84人)に変
更した理由については、国
からの指導があったのが、
それとも町の考えで変更し
たのか。

町として、予算上で
の接種率100%を見
込んで判断した。

特別職と議長は

優先接種を…

他市町村では、町長、
副町長が一般の方より

ワクチン接種関連予算として、602万円を上積み
接種該当者100%の2千84人分を計上

先にワクチン接種をしたこ
とが問題となっていたが、
最近は段々と緩和されてき
ている。十勝管内の首長で
既に2回目のワクチン接種
を済ませたこの報道もある。
コロナ禍において、いろ
いろなところに出席する機
会が多い町長、副町長、教
育長、議長には、
行政のトップと
して、早くワク
チン接種を済ま
せ、安心した状
況の中で活動す
べきではないか、
町長の見解は。

新型コロナウイルス
ナウウイルス

感染拡大を抑え
るためには、ワ
クチン接種が大
事だと思ってい
る。町民の皆さ
んには少しでも

早く打って欲しいので、優
先してワクチン接種をする
ことは考えていない。
年齢に応じた期間内にワ
クチン接種を受けていこう
とは思うが、特別職や議長
への質問もあったので、そ
のことについては検討して
みたい。



▲ 町内の施設で新型コロナウイルスワクチン接種

農村部が補助対象地域でないのはなぜ？

景観形成事業補助金

250万円



景観形成事業補助金は、空き家等の除去を促進するための補助金で、その対象地域は、市街地の公共下水道供用区域内に限定され、農村部は景観形成事業の対象にはなっていない。

農村部においても空き家等の解体に費用は当然掛かるが、なぜ市街地だけに限定しているのか。



市街地の景観をまずは良くするため、その基準として下水道が配置されている市街地に限定して行っている。



▲トナム方面からの牧歌的な風景

農村部の景観については、老朽化した建物が山間部にあるのも素朴で田舎らしいということもあり、ご理解いただきたい。



令和3年度 各会計補正予算（6月定例会可決）

会計名	補正額	総額
一般会計	2,210万円	49億9,505万円
国保直診勘定	86万円	3億4,310万円

令和3年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	2,753万円	49億7,295万円
特別会計 国保直診勘定	75万円	3億4,224万円
簡水事業会計	348万円	2億1,185万円

第2回臨時会が、5月13日に開会され、専決処分の承認を求めることについて1件、補正予算案3件を審議し、それぞれ承認または可決しました。

第2回臨時会

一般質問

6月定例会では5人の議員が一般質問を行い、町政を問いました。その内容を要約して掲載します。

陸別墓地の景観整備と 合同納骨墓を建設する考えは

渡辺 三義 議員

問 陸別墓地の現在の区画数と改葬(墓じまい)の状況について伺う。

町長 町が管理している墓地は、6箇所(陸別・小利別・薫別・トママ・川上・クンネベツ)あり、その内陸別墓地の区画数は、令和2年度で776区画である。
また、改葬は、直近の5年間で52件、令和2年度は8件であった。

問 墓の手入れがされていなく、松の木、ふきの葉、雑草等が伸びた状態のまま放置されている墓が見受けられる。景観的にも問題があるので、町が墓地の維持管理をする中で対応することはできないか。

町長 町職員が随時墓地の点検及び見回り等をして

ている。しかし、墓のことに関しては、個人の所有物ということもあり、勝手に対応することはできないため、今後の課題であると思っている。

問 陸別墓地内のトイレは、建築されてから既に45年以上が経過し、老朽化が見られることから、建て替え若しくは改修する考えはないか。

町長 墓地内のトイレが老朽化していることは認識しているが、今すぐに改修する考えは持っていない。ただし、今後どのような設置方法がよいのかについて、検討したい。

問 墓の継承や維持管理が出来ないとの理由から、早急に合同納骨墓を設

置してほしいとの要望が町民から出ている。町長は、令和3年3月定例会で、合同納骨墓の設置に向けて前向きに検討するとの発言であったが、その後の進捗状況は。

町長 近隣の合同納骨墓を視察し、検討する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大もあり、まだ視察ができていない。感染状況が落ち着いたら段階で、視察を行いながら検討を進めていきたい。

問 陸別墓地は、既に100年以上が経過しているが、景観に特化した整備は現在まで実施されていない。よって、墓地内の道路及び駐車場の整備、休憩場の設置、ツツジや桜の植栽等を行い、隣接する宮の森風

景林と連携した、散策等が出来る霊園風に整備する考えはないか。

町長 町が管理する陸別墓地を霊園風に整備する考えはもっていない。ただし、今後、合同納骨墓の設置を検討する中で、合わせて敷地内の景観及び駐車場等の整備についても検討していきたい。



▲ 陸別墓地トイレ及び駐車場周辺

コロナ対策に効果的な支援を

久保 広幸 議員

問 小規模企業振興事業は、陸別町小規模企業振興基金条例を根拠にしており、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充てるというよりは、元来の商工業振興事業として継続されるべきものではないか。

答 地域における観光対策は重要と考えており、アフターコロナを見据えた観光施設の整備を充実させている。町民の皆さんにはご理解を頂きたい。

問 コロナ禍の小規模事業者を支援するため、昨年9月から継続して実施している事業で、多くの事業者が活用しており、効果が大きいと考えている。今後は、商工業振興事業としての継続を検討したい。

問 今後、地方創生臨時交付金の追加配分があり、当町としての支援事業を検討する際には、飲食業等への支援は引き続き必要になるが、加えて、酪農業への支援としてプレミアム商品券の一部を、在庫量が急増している牛乳やバターなどの乳製品の専用券にして、酪農業を主産業とする町としての姿勢を示して欲しい。また、飲食店等の営業自粛が、アルバイトで学業を継続している学生をも苦境に陥れていると言われている。当町に縁の大学生等の生活支援を目的とした

給付金も必要ではないか。

問 飲食業等への新たな支援は、長期的な展望を見通すことができないため、状況を見極めながら検討させて頂きたい。また、商品券の一部を乳製品の専用券にすることについては、商品券事業の主体が商工会であることから、今のところ考えていない。

当町出身の大学生等の支援については、どれだけの方が苦境下にあるのかを把握するのが難しいものと考えており、当町の奨学金制度が充実していることから、給付金の支援は考えていない。

また、自主防災組織はゼロのまま、当町の規模と担い手確保の観点から、どのような形が良いのか検討したい。

地域防災マスター制度の活用と自主防災組織設立の取り組み状況を伺う。

問 地域防災マスターは、北海道が実施する講習を受講することで認定されるもので、今後は受講機会を増やすよう、北海道とも連携していきたい。

また、自主防災組織はゼロのまま、当町の規模と担い手確保の観点から、どのような形が良いのか検討したい。

問 ライフラインの確保に関するエネルギー供給停止のリスクについて、電力の安定供給に向けた連携体制確立の現状を伺う。

問 トラリ地区、トママ地区の一部は逆送によりバックアップされることになっているが、小利別・留辺蘂間の複線化、足寄線と津別線を含めたループ化など、対策が必要と認識している。

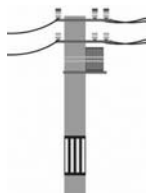
問 観光施設整備関連事業について、感染対策の緊急性が薄い現状では、これが地方創生臨時交付金による支援の一方の柱になり得るものと思っているが、支援の優先度に対する町民の理解が必要ではないか。

今後、地方創生臨時交付金の追加配分があり、当町としての支援事業を検討する際には、飲食業等への支援は引き続き必要になるが、加えて、酪農業への支援としてプレミアム商品券の一部を、在庫量が急増している牛乳やバターなどの乳製品の専用券にして、酪農業を主産業とする町としての姿勢を示して欲しい。また、飲食店等の営業自粛が、アルバイトで学業を継続している学生をも苦境に陥れていると言われている。当町に縁の大学生等の生活支援を目的とした

強化計画から見た脆弱性の評価

問 国土強化基本法の施行を受けて、昨年3月に当町の強化計画を策定し、あらゆるリスクを見据え、最悪の事態に至らせないための施策に取り組んでいる。人命の保護につい

て地域防災マスター制度の活用と自主防災組織設立の取り組み状況を伺う。



町内を低木花卉による

景観の整備を

谷 郁司 議員

問 第6期総合計画では、「花と緑あふれる住環境の創出に向け、公共施設への植樹を計画的に推進する」とある。この計画を推進するにあたり、公園・緑地整備の実現に向けてどのように進めようと考えているのか。

町長 現在、5か所（カネラン峠展望台・宮の森風景林・北稜岳・イベント広場・駅前多目的広場）を公園として指定し、町民の憩い、安らぎ、子ども遊び場等としての価値は高まってきている。町内の緑化推進は、地域の各団体と協力し合い、かつ、景観に関する気運を高めながら進めていきたい。

また、毎年実施している植樹祭において、これまで2万7千700本以上を植

樹してきた。継続的に植樹を行うことにより、森林の有する多面的機能を活かし、地球環境保全に配慮しながら、町民が親しめる森林整備を進めていきたい。



▶りくべつ鉄道構内に商工会が花植え
(6/10撮影)

りくべつ鉄道の観光を推進するためには、沿線の並木通りに花壇を設置し、百恋駅と分線駅周辺にはガーデニングを設置して、りくべつ鉄道を利用する観光客の方々に癒しを与えるような空間づくりを努める考えはないか。

町長 りくべつ鉄道を利用された方々からは、自然の原風景が魅力であるとの意見も聞いている。また、鉄道の敷地内の花壇等は、商工会とりくべつが管理し、百恋駅にはコスモスを植えたり、写真コンテストも実施しているの

で、各駅ごとに花壇等を設置する考はない。今後各関係機関との協議を行い、新たな意見等も取り入れながら行っていきたい。

問 新型コロナウイルス感染症防止を目的とした、地方創生臨時交付金が国から交付されている。

この交付金の対象事業の中には、花いっぱい応援事業もあるので、今後、追加の地方創生臨時交付金がくることがあれば、花いっぱい応援事業に取り組む考えはないか。

また、こうした事業を継続していくためにも、花卉の育苗栽培事業者へ支援していく予定はないか。

町長 花で町を飾ることにについては、町民からの要望と協力をいただけるのであれば、維持管理の面も含めて検討したい。

当町には花卉の育苗栽培を経営している事業者はいないので、現段階において支援をする予定はない。しかし、今後要望等があれば、陸別町中小企業融資制度等による支援は行っていきます。



町職員のマインドとスキルアップで スマイルな町づくりを

中村 佳代子 議員

問 町の新規採用者は、町外出身者が多いというところもあり、本町の産業の理解と、人脈形成を行うことを目的として、産業体験研修を行う考えはないか。

町長 各担当の業務上の関わりの中において、人脈作りをすることが初めに必要であると考えている。また、しばれフェスティバルに参加することで、人脈づくりや見識を広めることもできると考えている。

問 接遇研修は、コミュニケーション能力を養い、信頼関係を築くスキルだと考える。職員研修の中に接遇研修を取り入れる考えはないか。

町長 接遇研修はとても大事だと考えている。今後は、民間企業からの協力

を得ながら、実施について検討していきたい。

問 職員が個人のスキルアップを目的に各種研修会に参加して学ぶことは、将来の当町の利益にも繋がるものと考えられる。よって、職員が自発的に研修会等に参加する場合は、交通費だけでも支給する考えはないか。

町長 職員数に余裕がなく、積極的に参加させる状況にないが、仕事に支障がない範囲で研修会等への参加は可能である。旅費の支給は考えていない。しかし、研修の大切さは理解しているので、研修計画に基づき、対象職員には各種研修に参加させている。

問 人材育成基本方針を策定して、計画的に人材育成を推進することで専門知識、課題解決能力を有する職員の育成、一人一人の能力を最大限に発揮した業務遂行ができるものと思われる。

当町は、まだ人材育成基本方針を策定していないが、策定する考えはないか。

町長 今のところ人材育成基本方針を策定していかなくても大きな支障は出ていない。しかし、今後の国の人材育成基本方針の策定指針が改定された場合は、必要に応じて検討していきたい。

満天の星、寒さMAXなキャンプ場を

問 当町の天文台、しばれ、鉄道等の観光資源

を活かしたキャンプ場を整備し、観光人口の推進を図る考えはないか。

町長 現時点において、オートキャンプ場等を新設する考えはないが、既存のコテージ等の活用も含めて、当町にあったキャンプスタイルを研究していきたいと思う。



▲ 極寒の陸別で冬キャンプ

陸別町における

情報の提供体制を問う

三輪隼平 議員

問 町は、「愛の鐘」を用いて町民への情報をお知らせしているが、音声による伝達方法では、どうしても聞き逃しが発生してしまうこともある。聞き逃したことへの解決策として、

スマホや電子通信機器用のアプリを町が独自に整備し、プッシュ通知機能等を活用することで、リアルタイムでの取得や確認ができるものと思われる。このようなアプリを作成する考えはないか。

町長 防災行政無線「愛の鐘」については、平成28年度からデジタル化を進め、昨年度をもって整備を完了した。整備後の聴取力率は人口比で約8割となるが、聞き逃し等もある

ので、放送内容が全て町民に行き届いていないのが

現状である。現在のところ、ひとつの情報発信方法だけで、全ての町民をカバーすることはできないが、町広報紙6月号に掲載した「Domino」アプリをダウンロードし、陸別町をフォローすることで、町のホームページのトップクズを確認することができ

る。町独自でアプリを作成することは、今のところ考えてはいないが、ひとつの情報をもとに多くのサービスから見ることができるとは研究していきたい。

町のSNSを活用して情報発信と情報共有を

問

現在、町のSNSはツイッターを活用しているが、広報担当だけが情

報発信するのではなく、課を越えた職員も情報発信を行い、更に陸別町に関わる情報の拾い上げ（リツイート）等を行う考えはないか。

更に、町のツイッターは公共としての立場もあるため、制約もあり、特に民間業者に関わることは、商業に繋がる要素もあるため、十分に意識して発信していかなければならない。ただ、陸別町に住む若い方々が、SNS上で陸別町の情報を発信していただいていることは、大変ありがたいと思っている。

町長

今のところ担当者が積極的に活用しているというものは無い。また、情報の拾い上げについても、そのままの内容を掲載してもいいかどうかの判断も含め、昨今のSNS上のトラブルもあることから、十分に注

意しながら活用していかなければならないと考えている。



▲ 陸別町のツイッターで情報発信

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
第2回臨時会（5/13） ● 専決処分の承認を求めることについて（令和2年度一般会計補正予算）	承認
6月定例会（6/8～6/9） ● 工事請負契約の締結について ● 町税条例等の一部を改正する条例 ● 陸別町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ● 陸別町営住宅管理条例の一部を改正する条例	可決 可決 可決 可決
● 陸別町議会会議規則の一部を改正する規則（発議案）	可決

可決した意見書

● 林業・木材産業の持続可能な発展に向けた施策の充実・強化を求める意見書



議会の動き

【5月】

13日 議会運営委員会
第2回臨時会
議員協議会

【6月】

4日 議会運営委員会
8日 6月定例会
議員協議会
総務常任委員会
産業常任委員会

9日 6月定例会

議員協議会
議会運営委員会
（広報編集会議）

【7月】

2日 議会運営委員会
（広報編集会議）
6日 議員協議会



次回の定例会は9月に開催されます。詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。



陸別町議会 ホームページのご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになりました。

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>